

参考資料

■ 用語解説

あ行		
あ	ICT	Information and Communication Technology（情報通信技術）の略。コンピューターやインターネットといった情報技術（Information technology）を活用し、人と人、人とモノが通信する応用技術。
い	移動等円滑化	高齢者、障がい者等の移動又は施設の利用に係る身体の負担を軽減することにより、その移動上又は施設の利用上の利便性及び安全性を向上すること。（＝バリアフリー化）
い	移動等円滑化基準	旅客施設、車両、道路、信号機、建築物、路外駐車場、都市公園などのバリアフリー法による適合基準。
い	移動等円滑化基本構想	バリアフリー法に基づき、重点整備地区において、公共交通機関、道路、路外駐車場、都市公園、建築物等のバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するために、市区町村が作成する具体的事業を位置付けた実施計画。（＝バリアフリー基本構想）
い	移動等円滑化促進地区	移動等円滑化促進方針に定める、バリアフリー化を促進することが特に必要である地区。
い	移動等円滑化促進方針	バリアフリー法に基づき、移動等円滑化促進地区において、面的・一体的なバリアフリー化の方針を市区町村が示すもの。 （＝バリアフリーマスタープラン）
い	インクルーシブ	「包含性、すべてを含む」という意味で、都市公園においては、障がいのあるこどもが排除されず、障がいがないこどもたちと共に活動できるような状態を表す意味で使われる。
う	ウォーカブル	「歩く」を意味する「walk」と「できる」の「able」を組み合わせた造語で、「歩きやすい」、「歩きたくなる」、「歩くのが楽しい」といった語感をもつ。車中心の都市から、歩くことが中心の都市へシフトするための都市戦略用語として使われる。
え	エスコートゾーン	視覚障がい者が安全に横断歩道を渡れるよう、横断歩道の中央部に突起物を敷設したもの。
お	オストメイト	腹部等に排泄のためのストーマ（人工肛門・人工膀胱）を造設した人。
お	オストメイト対応設備	トイレ等でオストメイトが排泄物の処理やストーマ装具の交換・装着などをするための設備。
お	音響式信号機	信号機が青色であることを視覚障がい者に知らせるため、誘導音を出す装置がついている信号機。 誘導音は以下の2種類。 （１）メロディ式…「とおりゃんせ」や「故郷の空」等の音楽が流れる方式。 （２）擬音式…「ピヨピヨ」や「カッコウ」等の音が流れる方式。



出典：内閣府 HP

か行		
か	ガイドライン	国や自治体などが、関係者らが取り組むことが望ましいとされる指針や、基準となる目安などを示したもの。
き	輝度	ものの明るさを表現したものであり、単位面積当たり、単位立体角当たりの放射エネルギー（発散する光の量）を比視感度（電磁波の波長毎に異なる感度）で計測したもの。 視覚障害者誘導用ブロックの色は、周囲の路面との輝度比が大きいこと等により用意に識別できる色とすることが必要。   輝度比が大きい事例 輝度比が小さい事例
<	グリーンスローモビリティ	時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称。
<	グレーチング	道路の排水施設（側溝や排水桝）等の路面部分における、鋼材等を格子状に組んだ蓋。
け	経過時間表示式信号機	信号表示面に青時間までの待ち時間及び青時間の残り時間を表示する歩行者用灯器。  出典：内閣府 HP
こ	公共交通	路線バス、鉄道、地下鉄、都市モノレール、路面電車など不特定の人々を大量、かつ、効率的に運ぶことのできる交通手段のこと。
こ	交通結節点	鉄道の乗り継ぎ駅、道路のインターチェンジ、鉄道からバス・タクシーへと乗り換えが行われる駅前広場など、交通が集中的に結ばれている地点のこと。
こ	合理的配慮	障がい者から何らかの配慮を求める意思の表明があった場合に、配慮を求められた人が負担になりすぎない範囲で、社会的障壁を取り除くために行う配慮のこと。
こ	高齢化率	総人口に対する 65 歳以上の人口の割合。
こ	心のバリアフリー	様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションを取ることを通じて、バリアを感じている人の身になって考え、思いやり支え合うこと。
こ	コミュニケーション支援ボード	話し言葉でのコミュニケーションが困難な人たちや、日本語がわからない外国人とのコミュニケーションを支援するための絵記号や写真等を用いたボード。

さ行		
さ	サイン	道路や鉄道駅、建築物などに設置される誘導表示や案内図。
し	視覚障害者 誘導用ブロック	視覚障がい者を安全に誘導するために、地面や床面に敷設されている点状又は線状の突起のあるブロック（プレート）。 （＝点字ブロック）
し	J I S	日本の産業製品に関する規格や測定法などが定められた日本の国家規格のこと。（＝日本産業規格）
し	施設設置管理者	公共交通事業者等、道路管理者、路外駐車場管理者等、公園管理者等、建築主等、施設のバリアフリー化を行う事業者。
し	社会的障壁	障がい者にとって、日常生活や社会生活を営む上で障壁となるような、社会における事物、制度、慣行、観念、その他一切のもの。
し	重点整備地区	実施計画（移動等円滑化基本構想）に定める、バリアフリー化のための事業を行うことが特に必要である地区。
し	障害者差別解消法	「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（平成 25 年 6 月制定、平成 28 年 4 月 1 日施行）の略称。全ての国民が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障がいを理由とする差別の解消を推進することを目的として制定された。
す	スパイラルアップ	計画（Plan）→実施（Do）→評価（Check）→改善（Action）の PDCA サイクルに基づき取組を進めながら理想に向かっていくプロセス。
せ	生活関連施設	高齢者、障がい者等が日常生活又は社会生活において利用する旅客施設、官公庁施設、福祉施設その他の施設のこと。
せ	生活関連経路	生活関連施設相互間の経路のこと。
せ	生活道路	日常生活に利用される道路のこと。
せ	（バスの）正着	バスの乗降口と停留所の隙間を小さくして停車すること。
そ	ソフト	人、システム、制度など主に運用に関するもの。
た行		
た	多核連携都市	高次な都市機能が集積する中心市街地を市域及び都市圏全体の拠点とし、周辺では、郊外部も含めた広域的な地域生活圏の核となる地域拠点に、商業・医療などの日常生活サービス機能を維持・確保することで、地域拠点を核とした複数の地域生活圏の形成を図り、それら中心市街地と地域拠点が利便性の高い公共交通で結ばれるとともに、中心市街地や地域拠点及び利便性の高い公共交通沿線に一定の人口密度が維持された、持続可能で誰もが移動しやすく暮らしやすい都市。
た	段鼻 ^{たんはな}	階段の踏み面 ^{ふみづら} の先端部。
て	低床車両	路面電車やバスなどで、床面を低く作り、出入口の段差を小さくして乗降しやすくした車両のこと。
と	特定建築物	学校、病院、劇場、観覧場、集会場、展示場、百貨店、ホテル、事務所、共同住宅、老人ホーム等、多数の人が利用する政令で定める建築物。
と	特定公園施設	移動等円滑化が特に必要なものとして政令で定める公園施設。

と	特定事業	バリアフリー法に基づく実施計画（移動等円滑化基本構想）に定める事業で、公共交通特定事業、道路特定事業、路外駐車場特定事業、都市公園特定事業、建築物特定事業、交通安全特定事業、教育啓発特定事業をいう。
と	特定事業計画	特定事業の具体的内容について、バリアフリー法に基づく実施計画（移動等円滑化基本構想）に即して関係する事業者等が作成する計画。
と	特定道路	移動円滑化が特に必要なものとして政令で定める道路法による道路のこと。
と	特定路外駐車場	道路の附属物である駐車場、公園施設である駐車場、建築物及び建築物に附属する駐車場を除く路外駐車場であって、駐車のために供する部分の面積が500㎡以上であり、駐車料金を徴収するもの。
と	特別支援学校	障がいのある幼児児童生徒に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障がいによる学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする学校。
と	特別特定建築物	主に高齢者、障がい者等の不特定多数の人が利用する特定建築物であり、移動等円滑化が特に必要なものとして政令で定めるもの。
と	都市機能	都市に必要とされる様々な働きやサービスのことで、居住、商業、業務、工業、交通、政治、行政、教育、福祉、医療などの諸活動によって担われる。
と	都市機能誘導区域	商業・医療等の日常生活サービス機能を都市の拠点で維持・確保することにより、必要なサービスを受けることができる区域のこと。
な行		
に	ニーリング	バスのエアサスペンションの空気を抜いて車体を傾け、乗り降りをしやすくする装置のこと。
の	ノンステップバス	すべての方が乗り降りしやすいよう床面を低くし、乗降口の段差をなくしたバス。
は行		
は	ハード	道路や建築物、設備など主に施設に関するもの。
は	バリアフリー	障がいのある人が社会生活をしていく上で障壁（バリア）となるものを除去するという意味で、もともと住宅建築用語で登場し、段差等の物理的障壁の除去をいうことが多いが、より広く障がい者の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的なすべての障壁の除去という意味でも用いられる。
は	バリアフリートイレ	高齢者、障がい者等が利用する各種便所の総称。機能分散し個別機能を備えた便所（車椅子利用者用便所、オストメイト用設備を有する便所、乳幼児用設備を有する便所）、個別機能を組み合わせた便所がある。（＝高齢者障害者等用便所）
は	バリアフリー法	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の通称。一体的・総合的なバリアフリー施策を促進するために、ハートビル法と交通バリアフリー法を統合・拡充した法律。

は	ハンプ	自動車の走行速度を抑制するため、車道の表面を部分的に盛り上げたもの。
ひ	PDCAサイクル	「Plan（計画）→Do（実施）→Check（評価）→Action（改善）」の4つの段階を順次行いき、最後のAction（改善）を次のPlan（計画）につなげ継続的に業務を改善していく仕組みのこと。
ひ	ピクトグラム	不特定多数の人々が利用する公共交通機関や公共施設、観光施設等において、文字・言語によらず対象物、概念又は状態に関する情報を提供する図形。
ほ	ホームドア	ホームからの転落や列車との接触事故防止等の安全対策として、プラットフォームを壁面で囲い、ドアを取りつけて、列車の乗降に合わせて開閉させるもの。
や行		
ゆ	ユニバーサルデザイン	あらかじめ、障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。
ゆ	ユニバーサルデザインタクシー	足腰の弱い高齢者、車椅子使用者、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の方など、誰もが利用しやすいタクシー車両のこと。
ら行		
り	療育手帳	おおむね18歳までに、知的発達遅滞（知的障がい）が認められた方に交付される手帳で、福祉サービスの利用や相談を受けやすくするためのもの。
わ行		
わ	ワークショップ	一方的な情報提供ではなく、参加者が自ら参加・体験し、グループの相互作用の中で議論や問題解決、創造を行う場、又はその活動手法のこと。

■ 検討経緯

年度	月	内容
令和3年度 (2021 年度)	11 月	令和3年度 第1回 熊本市移動等円滑化推進協議会 ・ バリアフリーマスタープランの全体構成の共有 ・ 基本理念、基本方針等 ・ 移動等円滑化促進地区選定の基本手順 ・ 意見聴取（アンケート調査等）の手法
	12 月 ～1 月	市民アンケート調査
	2 月	令和3年度 第2回 熊本市移動等円滑化推進協議会 ・ 意見聴取結果について（アンケート調査） ・ バリアフリーマスタープランの対象範囲や取組方針設定の考え方 ・ 今後の機運醸成等について
	3 月	まちあるきワークショップ（中心市街地地区）
令和4年度 (2022 年度)	7 月	まちあるきワークショップ（水前寺・九品寺地区、健軍地区）
	8 月	令和4年度 第1回 熊本市移動等円滑化推進協議会 ・ バリアフリーマスタープランの構成について ・ 意見聴取結果について（まちあるきワークショップ） ・ 生活関連施設・生活関連経路の選定について ・ 今後のスケジュールについて ・ 取組方針の検討について ・ バリアフリーマップの作成について
	11 月	まちあるきワークショップ（中心市街地地区）
	1 月	令和4年度 第2回 熊本市移動等円滑化推進協議会 ・ バリアフリーマスタープラン（素案）について
	3 月	令和4年度 第3回 熊本市移動等円滑化推進協議会 ・ バリアフリーマスタープラン（素案）の変更点について ・ キャッチコピー優秀作品について まちあるきワークショップ（中心市街地地区）
令和5年度 (2023年度)	5 月	令和5年度 第1回 熊本市移動等円滑化推進協議会 ・ バリアフリーマスタープラン概要について ・ まちあるきワークショップの結果について ・ パブリックコメントについて ・ バリアフリーマスタープラン策定について

■ 熊本市移動等円滑化推進協議会 委員名簿

氏名（敬称略）	所属
○相藤 絹代	熊本学園大学非常勤講師
伊藤 幸喜	熊本市交通局 次長
岩永 謙二	熊本県バス協会乗合業務委員会 委員 （九州産交バス(株) 営業部長）
植田 洋平	熊本障害フォーラム事務局
上松 秀樹	（一社）熊本市タクシー協会 専務理事
オノユリ	（一社）子育てネットワーク縁側 moyai 代表
黒木 三奈子	（一財）熊本国際観光コンベンション協会 事業推進課長
坂口 美果	公募委員
佐藤 哲	熊本県立大学環境共生学部 准教授
高崎 奈実	九州運輸局 交通政策部 バリアフリー推進課長
高永 恭男	熊本市 都市建設局 土木部長
高梨 沙織	熊本市 PTA 協議会 市 P 担当副会長 部会長
竹内 久美	（公社）熊本県理学療法士協会 理事
長江 浩史	WeDO くまもと 代表
中野 育生	熊本電気鉄道(株) 鉄道事業部 部長
船越 稔幸	九州旅客鉄道(株)熊本支社 副支社長
増永 創	熊本駐車場協会 会長
安田 二郎	熊本市商店街連合会 会長
山浦 隆之	熊本県 警察本部 交通部 交通規制課長
◎八幡 彩子	熊本大学大学院教育学研究科 教授

※令和5年度の委員、五十音順、◎会長、○副会長

■ アンケート調査

(1) 調査の概要

バリアフリーに関する意識やご要望、施設の利用状況などを把握することを目的に、アンケート調査を実施しました。

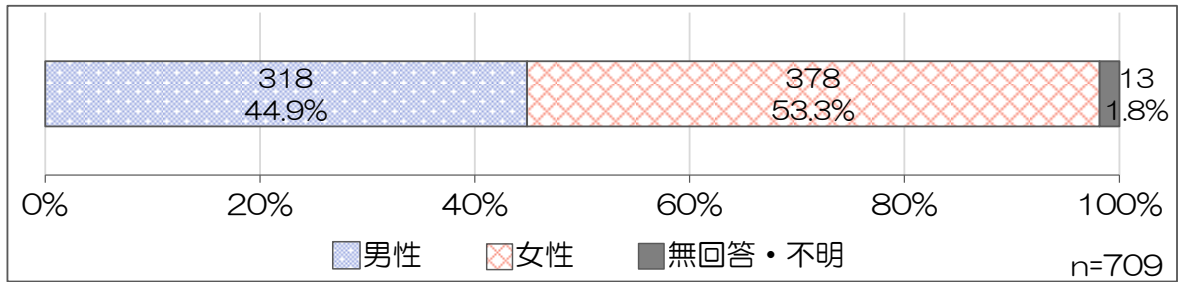
表 アンケート調査の概要

対象	熊本市在住の高齢者や障がいのある方、子育て世帯等を中心に 2,000 人
調査方法	郵送配布、郵送・WEB 回答
実施時期	令和 3 年 12 月 26 日 ～ 令和 4 年 1 月 17 日
回収数	709 票（うち郵送回答 519 票、WEB 回答 190 票） 回収率 35%
調査項目	<u>1.ご自身のことについて</u> 性別、年齢、お住まい、外出頻度、障がいの有無・種類
	<u>2.バリアフリーに関する市民意識について</u> サポートの経験、心のバリアフリーの認知状況、心のバリアフリーを広めるために重要な取組、マタニティマークの認知状況、障がい者サポーターシンボルマークの認知状況、障がい者サポーター制度の認知状況、ヘルプカードの認知状況、認知症サポーター制度の認知状況、共生社会の実現に向けた市の啓発活動への所感、偏見等についての所感
	<u>3.市内での移動手段や利用する施設について</u> よく利用する交通手段、地域拠点のうちよく利用する地区、よく利用する施設
	<u>4.市内のバリアフリーに関する課題について</u> 施設種別のバリアフリーに関する満足度、施設種別のバリアフリーに関するお困りごと
	<u>5.災害時のバリアフリーの課題について</u> 避難時に手助けが必要な方の有無、災害時の避難場所の認知状況、避難時のバリアフリー上の不安、熊本市災害時要援護者避難制度の認知状況
	自由意見

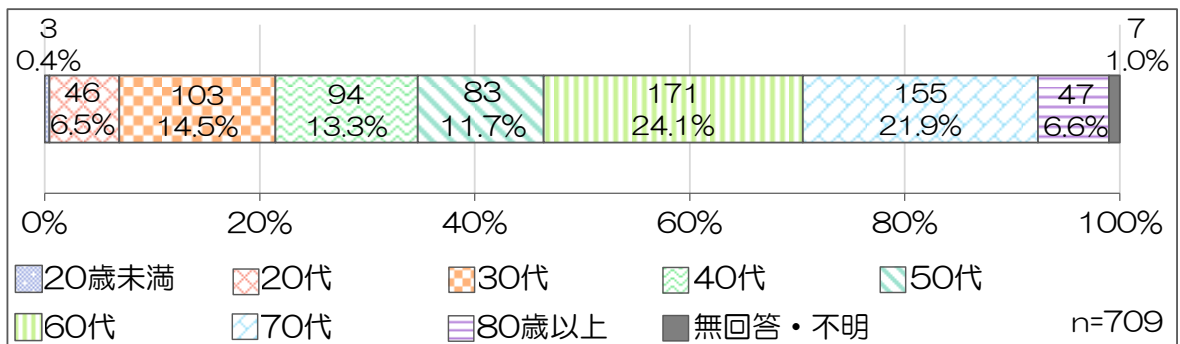
(2) 調査結果

【設問1】ご自身のことについて

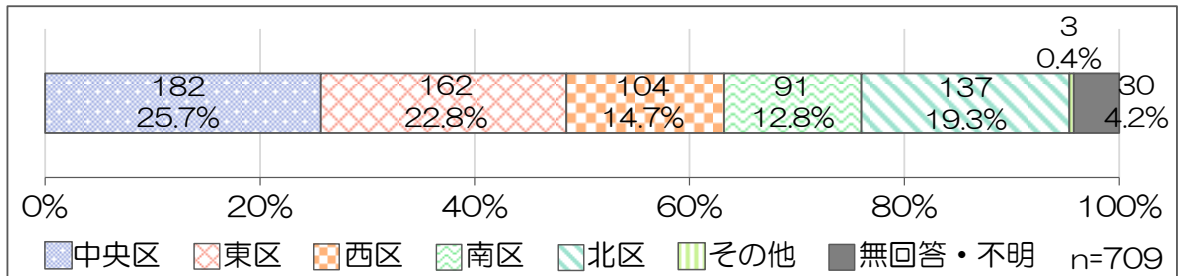
- ・設問1.1 性別を教えてください。



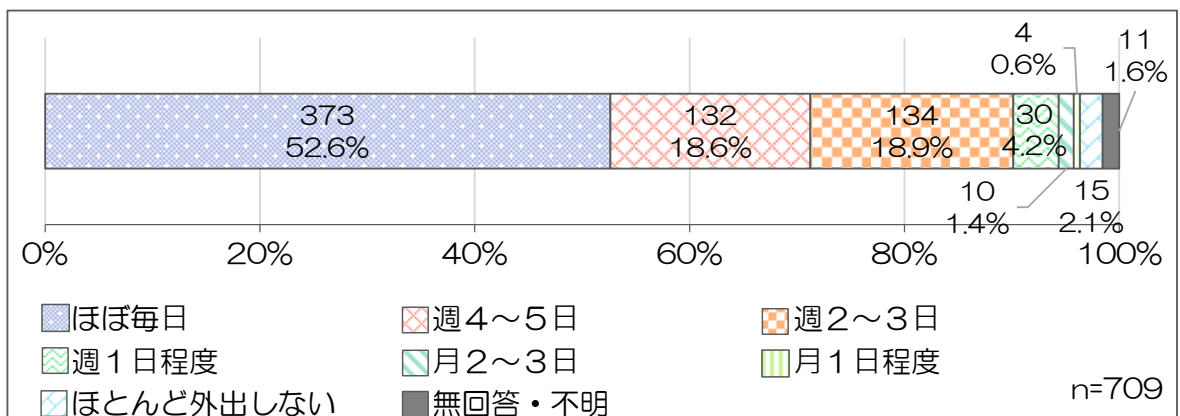
- ・設問1.2 年齢（令和3年12月1日現在）を教えてください。



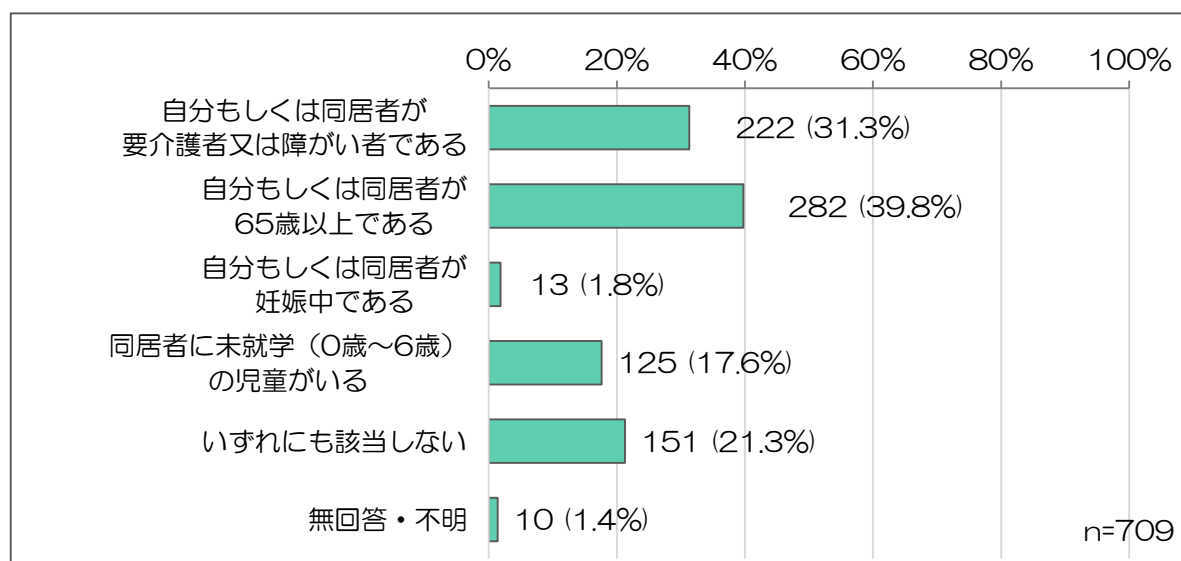
- ・設問1.3 お住まいを教えてください。



- ・設問1.4 どのくらいの頻度で外出しますか。

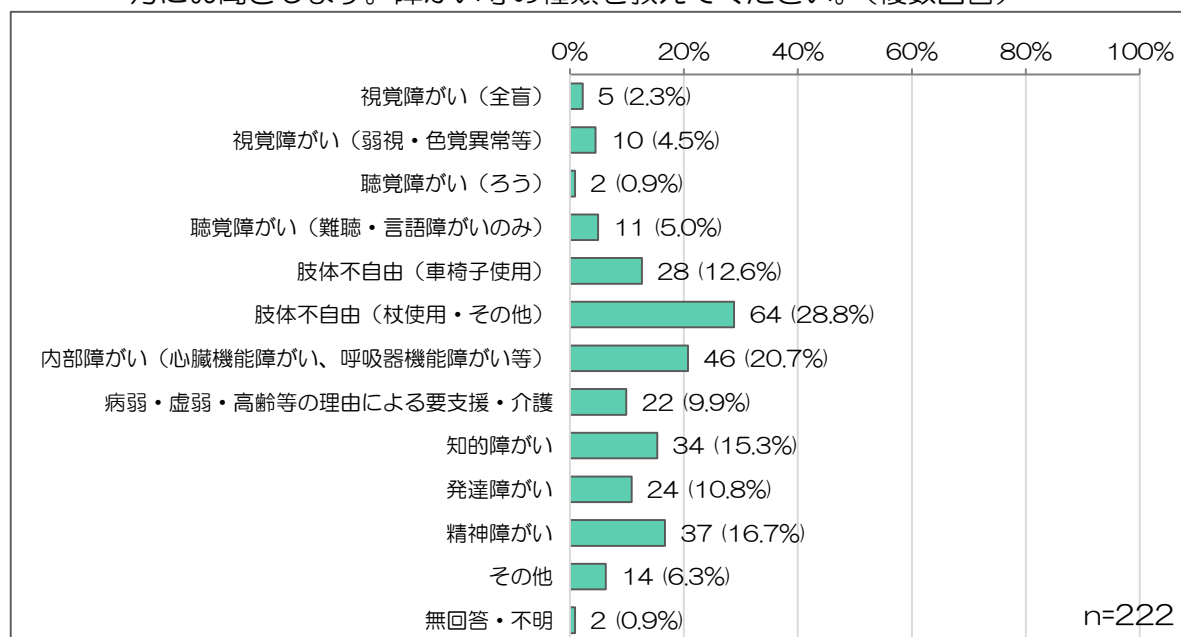


- ・設問1.5 あなたもしくは同居者がいずれに該当するか教えてください。(複数回答)



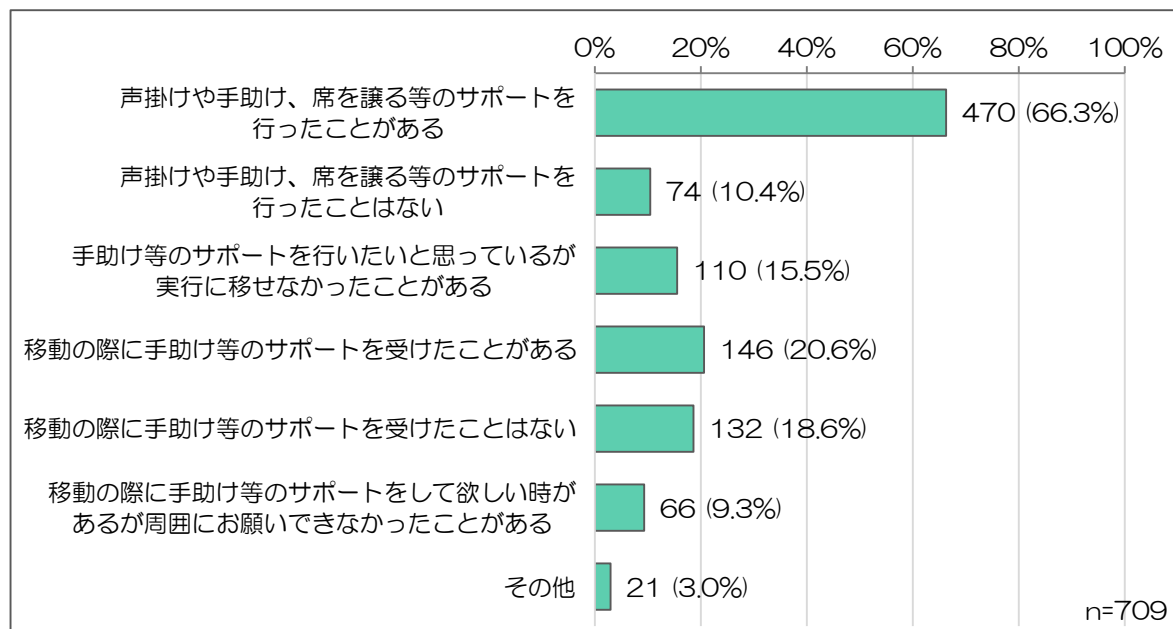
※グラフ内数値は【回答数(回答割合)】(以下同様)

- ・設問1.6 設問1.5で「自分または同居者が要介護者または障がい者である」とお答えの方にお聞きします。障がい等の種類を教えてください。(複数回答)

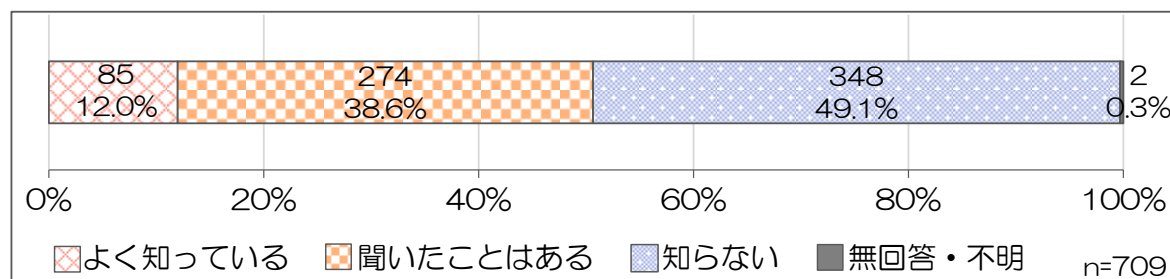


【設問2】バリアフリーに関する市民意識について

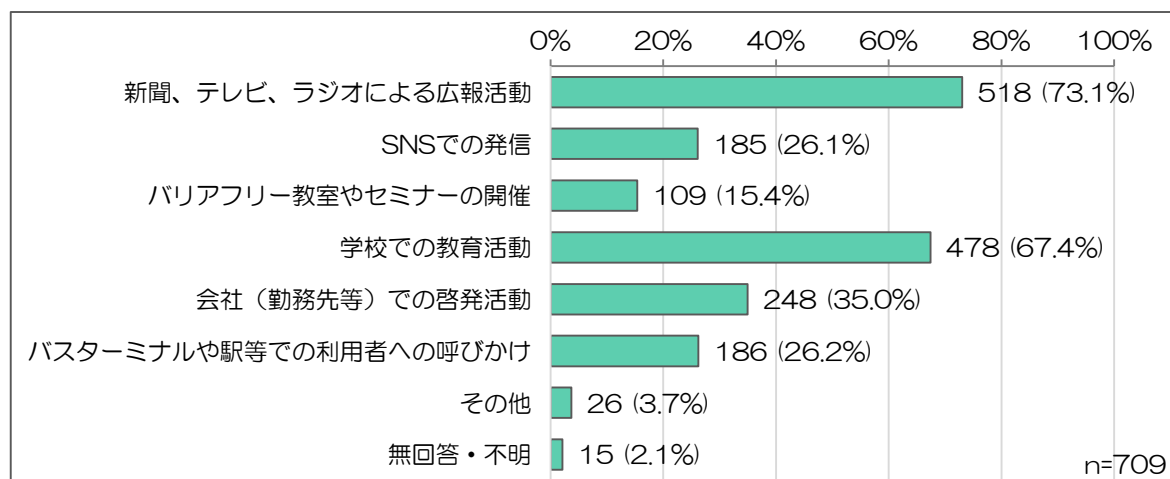
- ・設問2.1 障がいがある方、高齢者の方、妊婦の方の移動に対して、手助けや席を譲る等のサポートを行ったことはありますか。若しくは、サポートを受けたことはありますか。また、サポートを実行に移せなかったことや、周囲にお願い出来なかったこと等がありますか。(複数回答)



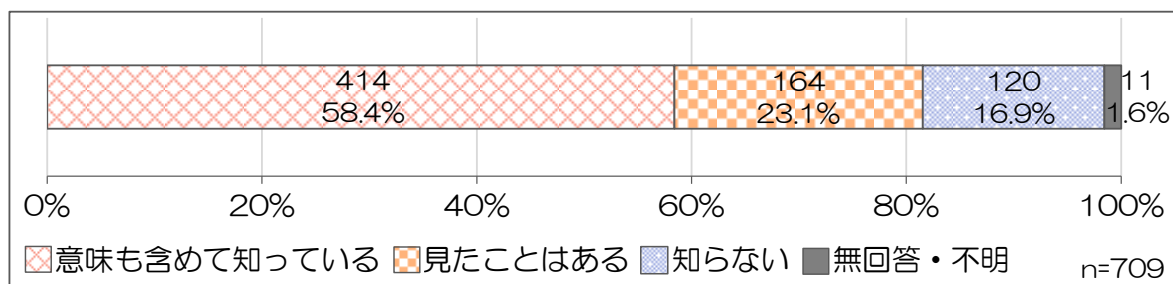
- ・設問2.2 本市では、バリアフリーを進めるためにも「心のバリアフリー」の推進に取り組むことにしています。「心のバリアフリー」について知っていますか。



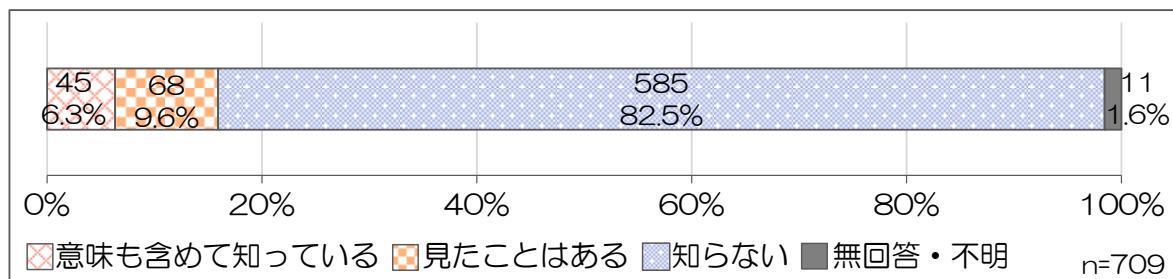
- ・設問2.3 「心のバリアフリー」を広めていくためには、どのような取組が重要だと思いますか。(複数回答)



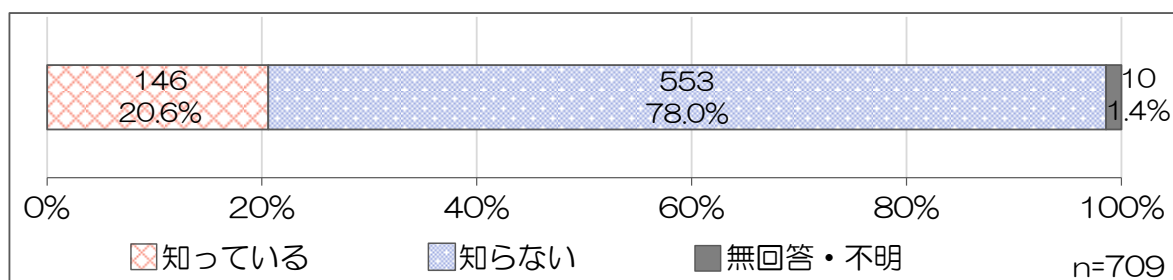
・設問2.4 マタニティマークについて知っていますか。



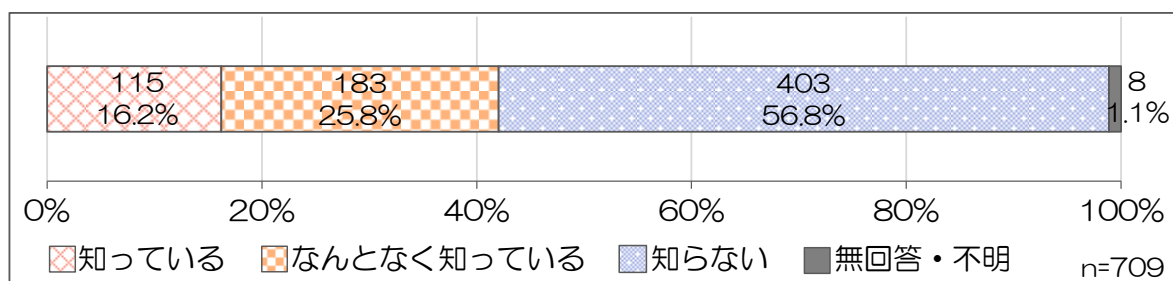
・設問2.5 障がい者サポーターシンボルマークについて知っていますか。



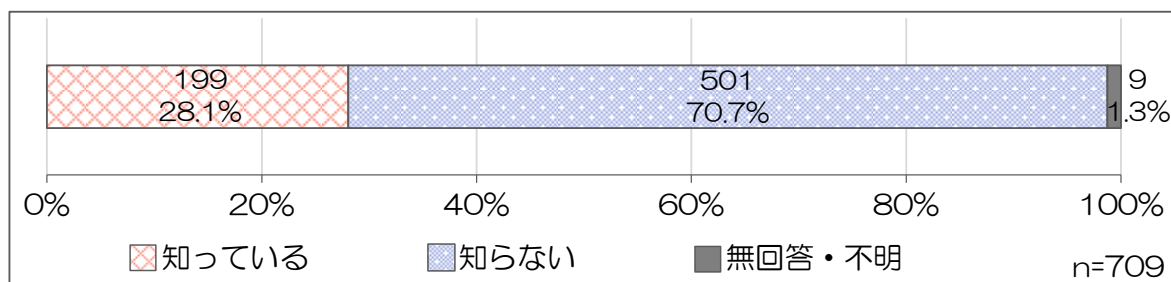
・設問2.6 本市では、障がいの特性や必要な配慮を理解し、障がいのある方が困っているときに、必要な手助けを実践する方々の育成を目指し、「障がい者サポーター制度」を実施しています。「障がい者サポーター制度」を知っていますか。



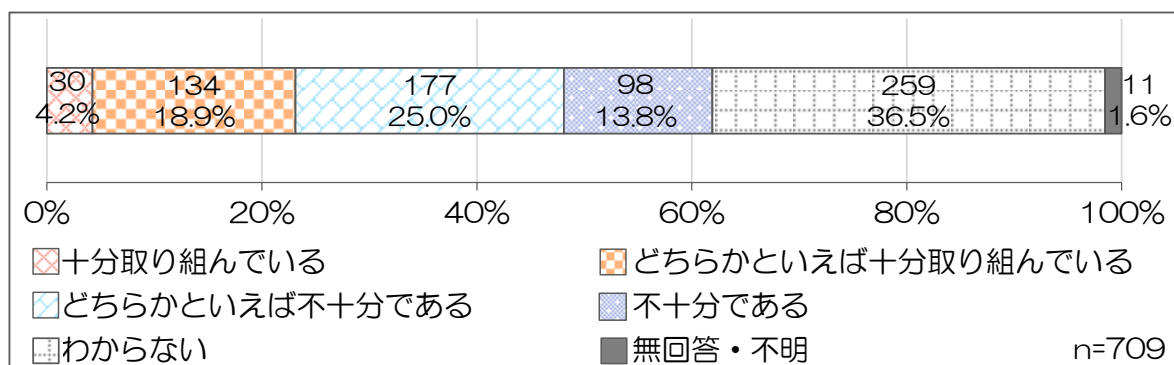
・設問2.7 ヘルプカードは、外見からわからなくても、支援や配慮を必要としている方々が、周囲にちょっとした手助けを求める際に提示するカードです。「ヘルプカード」を知っていますか。



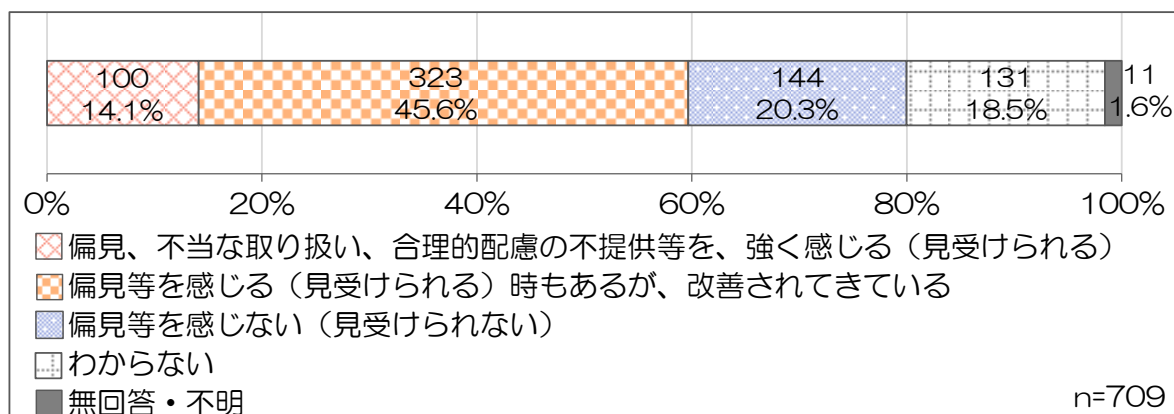
- ・設問2.8 本市では、「認知症になっても地域の中で安心して暮らすことができる」社会の実現のため、認知症の方等を応援する「認知症サポーター」の養成に取り組んでいます。「認知症サポーター制度」を知っていますか。



- ・設問2.9 本市では、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切にしたい、誰もが生き生きと暮らすことのできる「共生社会」の実現を目指し、お互いの人権の尊重や、障がい者の方等に対する理解の促進のために、様々な啓発活動などに取り組んでいます。あなたは、本市の啓発活動について、どのように感じていますか。

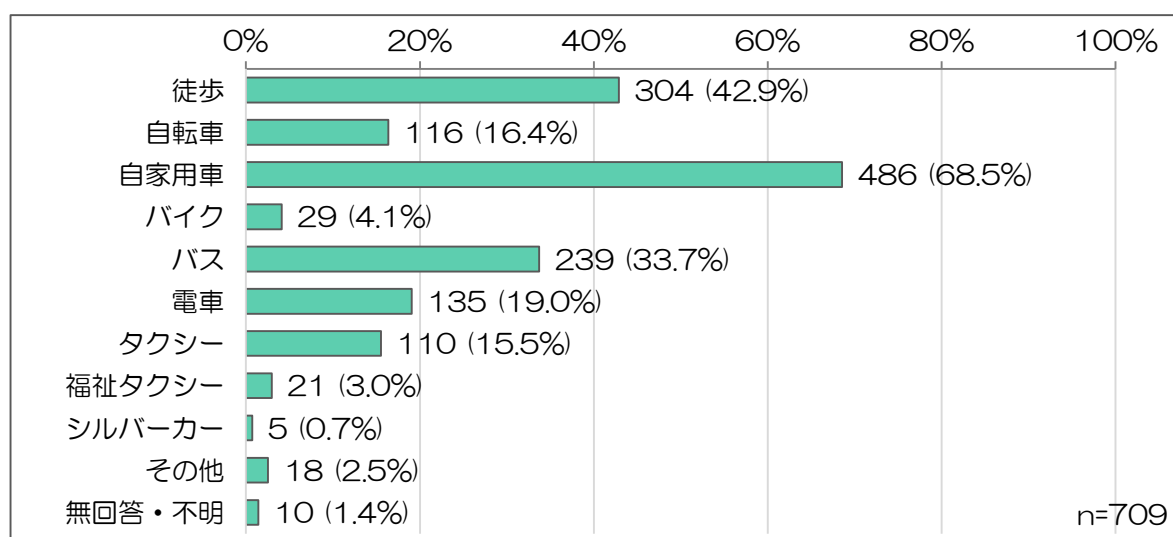


- ・設問2.10 障がいをお持ちの方や高齢者の方、妊婦の方等に対する偏見、不当な取り扱い、合理的配慮の不提供等について、どのように感じておられますか。

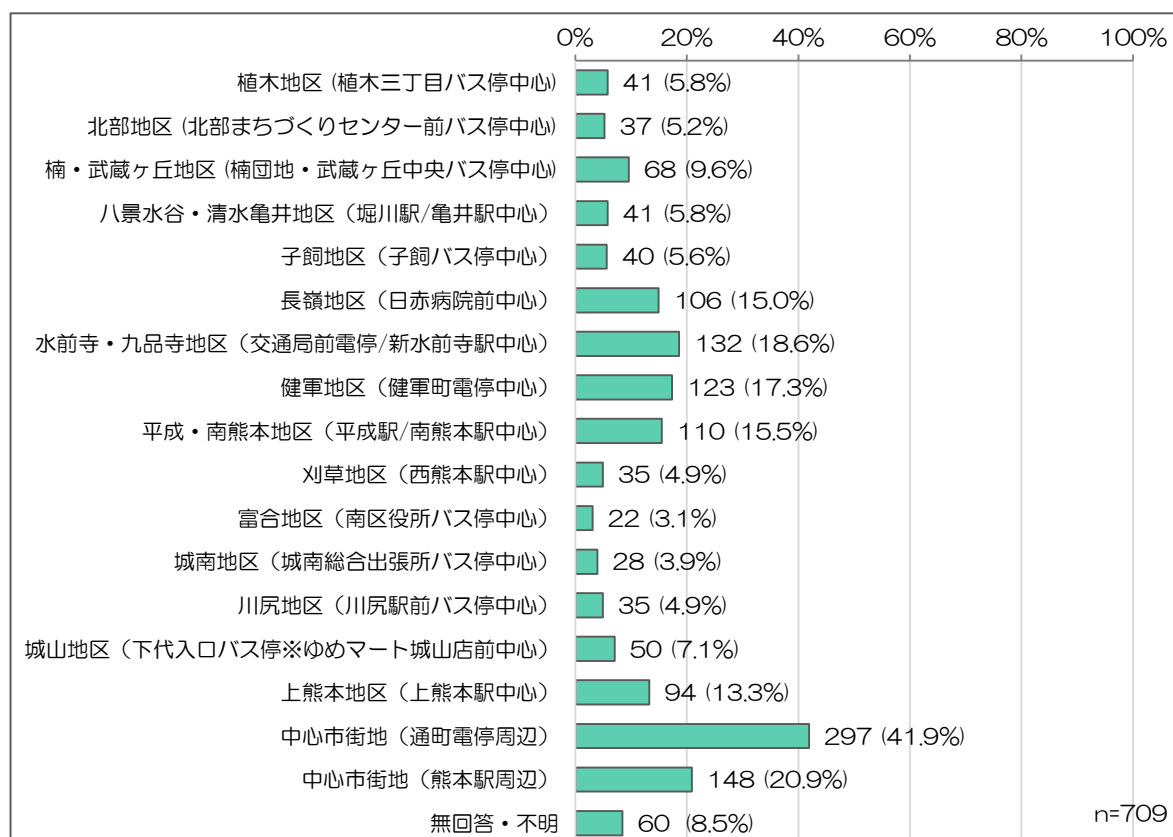


【設問3】市内での移動手段や利用する施設について

- ・設問3.1 日頃、よく利用している交通手段を教えてください。（複数回答）



- ・設問3.2 本市では、人口減少・高齢化が見込まれる中でも市民の暮らしやすさを維持するため、中心市街地や、地域拠点において“都市機能誘導区域”を設定し、商業や医療等の日常サービス機能を維持・集積することとしております。以下の地域拠点(都市機能誘導区域)のうち、日頃よく利用している地区を教えてください。（複数回答）

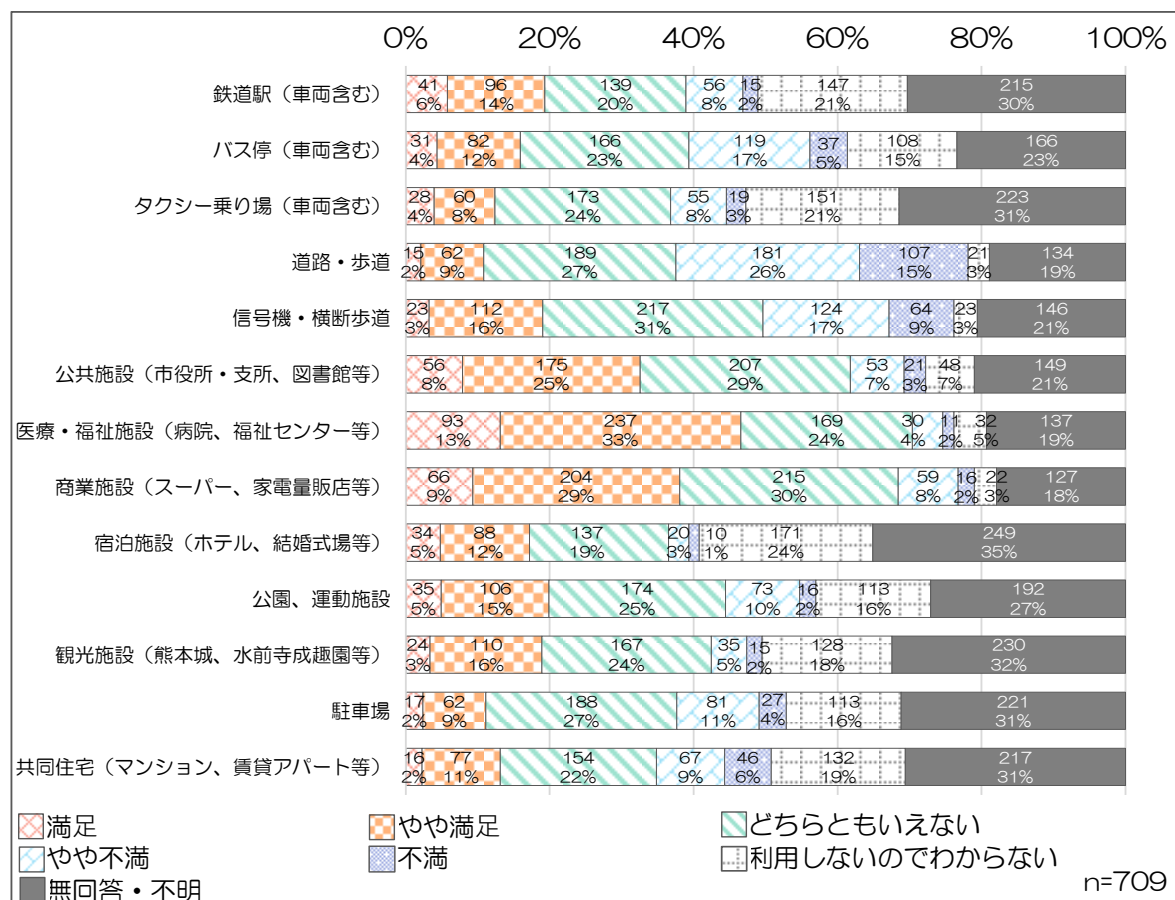


- ・設問3.3 下記の種類のうち、日頃よく利用する施設の「名称」を教えてください。

項目	主な意見
旅客施設（駅・バス停等）	・熊本駅 ・桜町バスターミナル ・通町筋（電停／バス停）
公共施設（市役所・支所、図書館等）	・熊本市役所 ・東区役所、西区役所、南区役所、北区役所 ・県立図書館、市立図書館
医療・福祉施設 （病院、福祉センター等）	・熊本赤十字病院 ・熊本大学病院 ・熊本市民病院
商業施設（スーパー、家電量販店等）	・サクラマチクマモト ・アミュプラザ熊本 ・鶴屋百貨店 ・ゆめタウン光の森
宿泊施設（ホテル、結婚式場等）	・ホテル日航熊本 ・ホテルメルパルク熊本
公園、運動施設	・熊本県民総合運動公園 ・水前寺江津湖公園 ・県立体育館 ・アクアドーム熊本
観光施設（熊本城、水前寺成趣園等）	・熊本城 ・水前寺成趣園

【設問 4】市内のバリアフリーに関する課題について

- ・設問 4.1 下記の種類別に、それぞれの施設を利用する際のバリアフリーに関する満足度を教えてください。



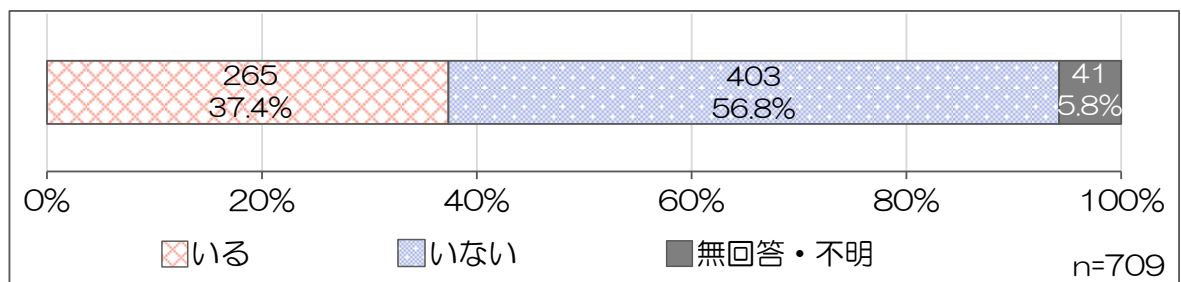
- ・設問 4.2 下記の種類別に、移動や施設を利用する際、バリアフリーの視点から困りごとがあれば教えてください。

項目	主な意見
鉄道駅 （車両含む）	・駅に階段が多く移動が困難。 ・乗降時の段差が高い、低床車両の運行を増やしてほしい。 ・電停ホームの幅が狭い。
バス停（車両含む）	・ベンチや屋根などの待合環境の整備が不十分。 ・歩道とバス車両に段差があり乗降しにくい。 ・案内表示や時刻表がわかりにくい。
タクシー乗り場 （車両含む）	・ベンチや屋根などの待合環境の整備が不十分。 ・タクシー乗り場の場所がわかりにくい。
道路・歩道	・道路、歩道の幅が狭い。 ・段差や凹凸が多く歩きにくい。 ・自転車が歩道を通行するため危険。 ・歩道がない箇所がある。
信号機・横断歩道	・青信号（歩行者）の時間が短く、渡り切れない。 ・横断歩道の白線が消えかかっている。 ・横断歩道や信号がなく、危険な箇所がある。
公共施設（市役所・支所、	・施設内の案内がわかりにくい。 ・トイレがバリアフリー化されていない。

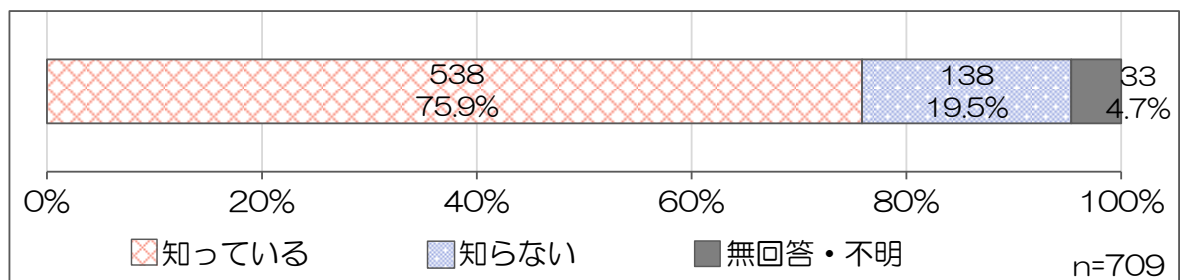
項目	主な意見
図書館等)	
医療・福祉施設 (病院、福祉センター等)	・出入口付近に十分な駐車場がなく、障がい者用駐車場も少ない。 ・エレベーターが狭い。
商業施設（スーパー、 家電量販店等）	・通路に商品が置いてあり、幅が狭くなっている。 ・エレベーターの優先利用がされていない。
公園・運動施設	・園路に小さな段差が多く、通行しにくい。 ・トイレの洋式化が進んでいない。
駐車場	・障がい者用駐車場に一般車が停車していることがある。 ・幅が狭く、ドアを十分に開けることができないところが多い。
共同住宅（マンション、 賃貸アパート等）	・車椅子使用者が住むことができる物件がとても少ない。 ・エレベーターが完備されていないアパートが多い。

【設問5】災害時のバリアフリーについて

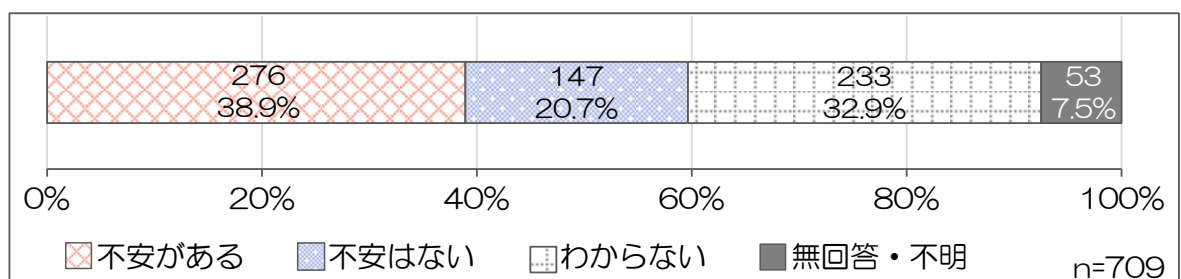
- ・設問5.1 災害時に避難する際、あなたもしくは同居者に手助けが必要な人はいますか。



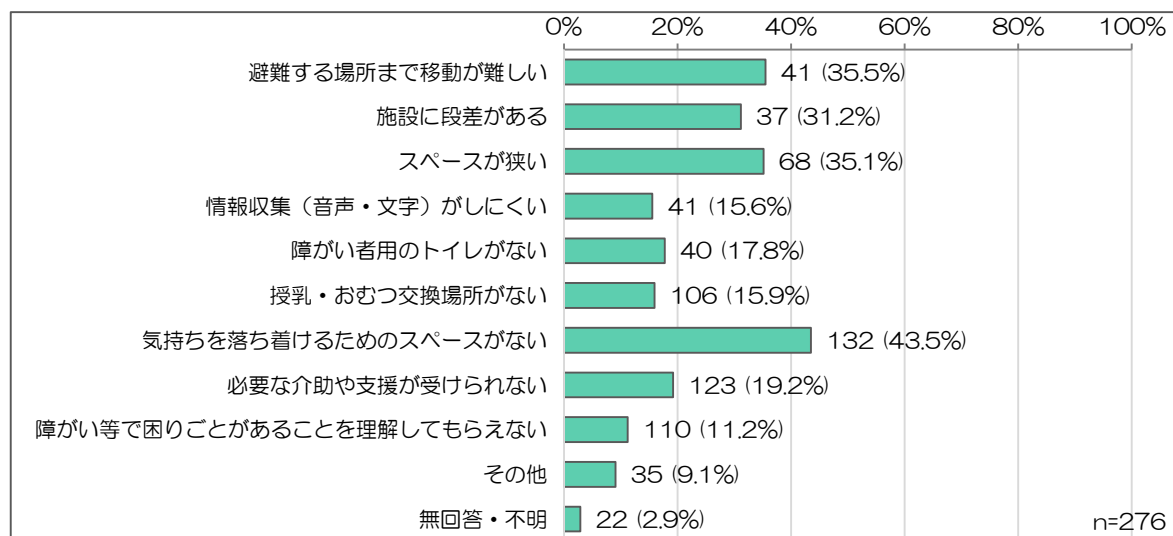
- ・設問5.2 災害時に避難する場所を知っていますか。



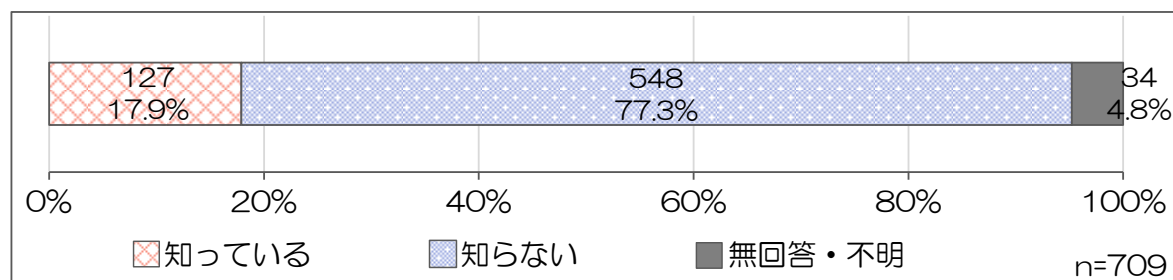
- ・設問5.3 災害時に避難する際、移動や避難所での生活について、バリアフリー上の不安はありますか。



- ・前問（5.3）で「不安がある」とお答えの方は、どのような点が不安か具体的に教えてください。（複数回答）



- ・設問5.4 災害時にひとりで避難行動をとることが難しい人を支援する「熊本市災害時要援護者避難制度」を知っていますか。



【バリアフリーについての自由意見】

主な意見
・障がいのある人とのコミュニケーションの取り方などについて、年に1回程度でも研修会等を開いてほしい。 ・見た目ではわからない障がいのため、周囲に伝わりづらく、理解されにくく、共感されにくい。それゆえに必要な配慮が得られないことがある。 ・障がいのある人が身近にいない人は、バリアフリーなどについて触れたり自分で考えたりする機会が少ない。安易に学校に任せるのではなく、市として市民に啓発してほしい。 ・熊本市のバリアフリー化は格差が大きいと思う。古い施設でもバリアフリーを取り入れやすい制度を整えて欲しい。 ・支払いなどのIT化が進み迷うことが多い。アナログも最小限は必要だと思う。 ・バリアフリーが充実した環境は、今は不自由を感じない人たちにとっても住みやすい社会であることは間違いない。自分にとって必要性が低いことにはなかなか気づかない人が多いと思う。バリアフリーを必要としている方々にたくさん意見を聞き、まちづくりに活かしてほしい。

■ まちあるきワークショップ

(1) ワークショップでのアイデア

今後進めていきたい取組、配慮してほしい点

	地区	ハード面の取組	ソフト面の取組
すぐに できる 取組	中心市街地地区	- EVの開閉時間を調整する。 - 電光掲示板の色や見やすさを調整する。 - 既存施設の点検・維持管理を行う。 (清掃・呼び出しの接続確認など)	- 視覚障害者誘導用ブロックの上に物を置かないよう、店舗などに啓発活動(マークを貼る、市民に知ってもらうWS・機会の提供)を行う。 - 啓発活動の一環として、筆談ボード、点字メニューなどで日常的に目に触れる機会を増やす。 - 商店街組合などと協力してトイレの整備をする。 - コンビニトイレやホテルなどの多目的トイレは誰でも使用可能にし、その掲示を行う。 - バリアフリー設備を増設する場所の優先順位の検討を行う。
	水前寺・九品寺地区	- エスカレーター付近での売場に関する音声案内を設置する。 - トイレで男女の別や流す場所に関する音声案内を設置する。 - エレベーターの開閉時間は障がい者が行き先ボタンを押せる時間も考慮して設定する。 - バス停にあるモニターやトイレの呼び出しボタンの位置を障がい者に配慮した高さとする。 - バス停の時刻表や商業施設内サインの文字を大きくする。 - 劣化や破損による点字ブロックの速やかな補修を行う。 - 点字ブロックは極力曲がり角が多くなならないような導線で敷設する。 - 音響信号の音をどちらの方向に横断できる音なのか分かりやすくする。	- 制服や名札などスタッフが誰なのか分かりやすくする。 - 困っている人に対するスタッフの積極的な声かけを行う。 - バス運転手による行先案内を徹底する。
	健軍地区	- 案内サインについては様々な立場の人に配慮した内容とする。 - 案内サインを見やすくする。(サインや文字の大きさの配慮、文字からピクトへの変更等) - 視覚障害者誘導用ブロックの速やかな補修を行う。 - 施設の敷地内から入口部分への視覚障害者誘導用ブロックの設置を行う。	- まちあるきにお店や施設の管理者も参加してもらうことで、情報共有を行い課題解決や意識の向上に繋げる。 - 施設やお店のHPにバリアフリー状況を掲載する。

	地区	ハード面の取組	ソフト面の取組
中期で できる 取組	中心市街地地区	・わかりやすい場所へサインを設置する。（音声・点字・ランプなど）	・多様な端末に対応したアプリを開発し、情報提供支援（①危険場所を知らせる情報提供 ②便利な情報提供）を行う。 ・スマホなどデバイスを持っていない人への対応・サポートを行う。
	水前寺・九品寺地区	・売場の案内を文字だけでなくイラストも加える。 ・施設への乗り入れ口の傾斜は滑りにくい舗装の仕様とする。 ・エレベーターの押しボタンを点字仕様にする。	・商業施設においてヘルプガイドを配置する。 ・視覚障がい者用字幕映画公開期間を拡充する。 ・聴覚障がい者が字幕映画を楽しむためのメガネ・ヘッドホン等を配備する。
	健軍地区	・連続的な平坦な経路を部分的に整備する。 ・マンホールの蓋等がある場所に視覚障害者誘導用ブロックを設置しない。 ・歩道上の休憩施設を増やす。 ・カート置き場を分散することで利用しやすくする。	・商店街を利用する障がい者への人的サポート体制を構築する。 ・障がい者別の困りごとを一元化し、IT の視点を取り入れるなどのソフト対策を行う。
時間の かかる 取組	中心市街地地区	・段差の解消や視覚障害者誘導用ブロックの設置など、整備不良個所の整備を行う。【短期から継続的に実施】 ・多目的トイレ、おむつ交換台、授乳室の増設を行う。	
	水前寺・九品寺地区	・自転車の通行が多い地区のため、自転車と車椅子が余裕をもってすれ違える歩道幅員を確保する。 ・複数の肢体不自由者が同時に映画を鑑賞できるスペースを確保する。	
	健軍地区	・段差も生じず維持管理もしやすいアスファルト舗装にする。 ・障がい者用の駐車場を整備する。 ・車椅子用トイレの横に車椅子を置くスペースを確保する。 ・エレベーターをストレッチャーが入る広さにする。	

(2) まちあるきワークショップの様子

中心市街地地区

概要説明



ホテル日航（エレベーター）



辛島町交差点



下通アーケード（字幕付き映像）



パスト辛島町（精算機）



視覚障がい体験



水前寺・九品寺地区

概要説明



ワークショップ



健軍地区

ワークショップ



健軍文化ホール（車椅子席）



健軍町電停（乗車ホーム）



健軍町電停（降車ホーム）



■キャッチコピー

(1) キャッチコピーの募集と優良作品の選定

バリアフリーのまちづくりを市民全員で一緒になって進めていくことを簡潔かつ印象的に表現し、バリアフリーのまちづくりにみんなで一緒に取り組むきっかけになるようなキャッチコピーを募集した結果全69件のご応募があり、下記の優良作品を選定しました。

その後、熊本市HPにて投票募集したところ、全311件の応募があり、部門ごとの最多得票作品を優秀作品に選定しました。

部門別の優良作品

部門	キャッチコピー	票数
小学生の部	いつでも どこでも 「いき」 やすく	186
	ほんの少しの優しさで みんなが笑顔になる街くまもと市	125
中学生の部	「楽しもう」好きなときに やりたいことを	93
	協力しよう 豊かな未来へ つなぐため	43
	助けあい支えあい笑いあえる街	102
	みんなで作り、守ろう住みやすい町	28
	バリアフリーで当たり前前に生活できる街づくり	45
一般の部	街も心も躓きなし！	64
	『この街、バリアフリー』	39
	支え愛 どこでも心にバリアフリー	130
	思いやりの心で住み良いまちづくり	37
	支えあう みんながやさしいぼくの町	41

熊本市バリアフリーマスタープラン

発行 / 熊本市

編集 / 熊本市 都市建設局 交通政策部 移動円滑推進課
〒860-8601 熊本市中央区手取本町 1 番 1 号
TEL : 096-328-2522

熊本市 健康福祉局 健康福祉部 健康福祉政策課
〒860-8601 熊本市中央区手取本町 1 番 1 号
TEL : 096-328-2340

発行日 / 令和5年6月